

【被災3県の概要】

ここでは、2018年漁業センサス調査結果を基に、東日本大震災の被災地域における海面漁業の構造を取りまとめたもので、特に津波被害の大きかった岩手県、宮城県及び福島県を被災3県として、経営体等の状況を明らかにしたものである。

1 被災3県

被災3県の漁業経営体数は6,109経営体で、5年前に比べ419経営体（7.4%）増加した。

海上作業従事者数は14,548人で、5年前に比べ721人（5.2%）増加した。

漁船隻数は11,553隻で、5年前に比べ1,077隻（10.3%）増加した。

魚市場の数は29市場で、5年前に比べ4市場（16.0%）増加し、水産物取扱数量は45万8,399t、水産物取扱金額は1,798億2,122万円と5年前に比べそれぞれ344t（0.1%）、162億1,138万円（9.9%）増加した。

冷凍・冷蔵工場は401工場で、5年前に比べ10工場（2.6%）増加し、従業者数は1万2,809人で、5年前に比べ1,841人（16.8%）増加した。また、冷蔵能力は75万5,183tで、5年前に比べ3万6,350t（5.1%）増加した。

水産加工工場は528工場で、5年前に比べ6工場（1.1%）減少したものの、従業者数は1万5,420人で5年前に比べ693人（4.7%）増加しており、最も生産量の多い加工種類である生鮮冷凍水産物の生産量は24万4,674tで、5年前に比べ3万4,245t（16.3%）増加した。

表 33 漁業センサスにおける主な調査結果（被災3県計）

区	分	単位	平成20年	25	30	対前回増減率 (25/20)	対前回増減率 (30/25)
漁業経営体	経営体	〃	10,062	5,690	6,109	△ 43.5	7.4
個人経営体	〃	〃	9,780	5,469	5,885	△ 44.1	7.6
団体経営体	〃	〃	282	221	224	△ 21.6	1.4
会社、共同経営、その他	〃	〃	241	136	174	△ 43.6	27.9
漁業協同組合等	〃	〃	41	85	50	107.3	△ 41.2
海上作業従事者	人	〃	21,598	13,827	14,548	△ 36.0	5.2
個人経営体	〃	〃	16,465	8,409	10,624	△ 48.9	26.3
団体経営体	〃	〃	5,133	5,418	3,924	5.6	△ 27.6
会社、共同経営、その他	〃	〃	4,288	2,893	3,002	△ 32.5	3.8
漁業協同組合等	〃	〃	845	2,525	922	198.8	△ 63.5
漁船	隻	〃	18,002	10,476	11,553	△ 41.8	10.3
魚市場	市場	〃	37	25	29	△ 32.4	16.0
水産物取扱数量	t	〃	706,889	458,055	458,399	△ 35.2	0.1
水産物取扱金額	万円	〃	20,850,410	16,360,964	17,982,122	△ 21.5	9.9
冷凍・冷蔵工場	工場	〃	555	391	401	△ 29.5	2.6
従業者	人	〃	18,600	10,968	12,809	△ 41.0	16.8
冷蔵能力	t	〃	967,936	718,833	755,183	△ 25.7	5.1
水産加工工場	工場	〃	752	534	528	△ 29.0	△ 1.1
従業者	人	〃	21,861	14,727	15,420	△ 32.6	4.7
生産量（生鮮冷凍水産物）	t	〃	379,436	210,429	244,674	△ 44.5	16.3

2 岩手県

岩手県の漁業経営体数は3,406経営体で、5年前に比べ41経営体（1.2%）増加した。

海上作業従事者数は6,187人で、5年前に比べ14人（0.2%）増加した。

漁船隻数は5,791隻で、5年前に比べ51隻（0.9%）増加した。使用した漁船の販売金

額1位の漁業種類別の漁船隻数をみると、かき類養殖は165隻で、5年前に比べ86隻（108.9%）増加、わかめ類養殖は143隻で、5年前に比べ52隻（26.7%）減少、大型定置網は156隻で、5年前に比べ7隻（4.7%）増加した。

魚市場の数は5年前と同じ14市場であったが、水産物取扱数量は11万3,826tで5年前に比べ2万2,343t（16.4%）減少したものの、水産物取扱金額は401億2,709万円と5年前に比べ25億2,815万円（6.7%）増加した。

冷凍・冷蔵工場は128工場、5年前に比べ17工場（11.7%）減少し、従業者数は3,430人で、5年前に比べ394人（10.3%）減少したものの、冷蔵能力は17万2,902tで、5年前に比べ2万8,252t（19.5%）増加した。

水産加工工場は135工場、5年前に比べ19工場（12.3%）減少し、従業者数は3,377人で5年前に比べて925人（21.5%）減少した。最も生産量の多い加工種類である生鮮冷凍水産物の生産量は7万2,829tで5年前に比べ1万7,234t（19.1%）減少した。

表 34 漁業センサスにおける主な調査結果（岩手県）

区	分	単位	平成20年	25	30	対前回増減率 (25/20)	対前回増減率 (30/25)
漁業経営体	経営体	〃	5,313	3,365	3,406	△ 36.7	1.2
個人経営体	〃	〃	5,204	3,278	3,317	△ 37.0	1.2
団体経営体	〃	〃	109	87	89	△ 20.2	2.3
会社、共同経営、その他	〃	〃	77	54	55	△ 29.9	1.9
漁業協同組合等	〃	〃	32	33	34	3.1	3.0
海上作業従事者	人	〃	9,545	6,173	6,187	△ 35.3	0.2
個人経営体	〃	〃	7,434	4,004	4,564	△ 46.1	14.0
団体経営体	〃	〃	2,111	2,169	1,623	2.7	△ 25.2
会社、共同経営、その他	〃	〃	1,306	967	847	△ 26.0	△ 12.4
漁業協同組合等	〃	〃	805	1,202	776	49.3	△ 35.4
漁船	隻	〃	8,964	5,740	5,791	△ 36.0	0.9
（販売金額1位の漁業種類別）							
かき類養殖	〃	〃	376	79	165	△ 79.0	108.9
わかめ類養殖	〃	〃	317	195	143	△ 38.5	△ 26.7
大型定置網	〃	〃	185	149	156	△ 19.5	4.7
魚市場	市場	〃	14	14	14	0.0	0.0
水産物取扱数量	t	〃	186,999	136,169	113,826	△ 27.2	△ 16.4
水産物取扱金額	万円	〃	4,542,668	3,759,894	4,012,709	△ 17.2	6.7
冷凍・冷蔵工場	工場	〃	176	145	128	△ 17.6	△ 11.7
従業者	人	〃	4,940	3,824	3,430	△ 22.6	△ 10.3
冷蔵能力	t	〃	168,428	144,650	172,902	△ 14.1	19.5
水産加工工場	工場	〃	178	154	135	△ 13.5	△ 12.3
従業者	人	〃	5,314	4,302	3,377	△ 19.0	△ 21.5
生産量（生鮮冷凍水産物）	t	〃	108,241	90,063	72,829	△ 16.8	△ 19.1

3 宮城県

宮城県の漁業経営体数は2,326経営体で5年前に比べ15経営体（0.6%）増加した。

海上作業従事者数は7,255人で5年前に比べ10人（0.1%）増加した。

漁船隻数は5,318隻で5年前に比べ614隻（13.1%）増加した。使用した漁船の販売金額1位の漁業種類別の漁船隻数をみると、かき類養殖は241隻で、5年前に比べ73隻（43.5%）増加、ほたてがい養殖は119隻で、5年前に比べ15隻（14.4%）増加、大型定置網は39隻で、5年前に比べ1隻（2.6%）増加した。

魚市場の数は5年前と同じ10市場であったが、水産物取扱数量は33万4,686t、水産物取扱金額は1,365億9,700万円と5年前に比べそれぞれ1万6,871t（5.3%）、112億3,576万円（9.0%）増加した。

冷凍・冷蔵工場は208 工場で、5 年前に比べ25 工場（13.7%）増加し、従業者数は7,601 人で、5 年前に比べ2,237 人（41.7%）増加した。また、冷蔵能力は50 万3,434 t で5 年前に比べ9,251 t （1.9%）増加した。

水産加工場は291 工場で、5 年前に比べ2 工場（0.7%）減少したものの、従業者数は、9,964 人で5 年前に比べ1,320 人（15.3%）増加した。最も生産量の多い加工種類である生鮮冷凍水産物の生産量は、16 万2,391 t で、5 年前に比べ4 万8,884 t （43.1%）増加した。

表 35 漁業センサスにおける主な調査結果（宮城県）

区	分	単位	平成20年	25	30	対前回増減率 (25/20)	対前回増減率 (30/25)
漁業経営体	経営体	人	4,006	2,311	2,326	△ 42.3	0.6
個人経営体	個人	人	3,860	2,191	2,214	△ 43.2	1.0
団体経営体	団体	人	146	120	112	△ 17.8	△ 6.7
会社、共同経営、その他	会社、共同経営、その他	人	140	68	96	△ 51.4	41.2
漁業協同組合等	漁業協同組合等	人	6	52	16	766.7	△ 69.2
海上作業従事者	海上作業従事者	人	10,280	7,245	7,255	△ 29.5	0.1
個人経営体	個人	人	7,804	4,405	5,284	△ 43.6	20.0
団体経営体	団体	人	2,476	2,840	1,971	14.7	△ 30.6
会社、共同経営、その他	会社、共同経営、その他	人	2,455	1,517	1,825	△ 38.2	20.3
漁業協同組合等	漁業協同組合等	人	21	1,323	146	6200.0	△ 89.0
漁船	漁船	隻	8,173	4,704	5,318	△ 42.4	13.1
（販売金額1位の漁業種類別）	（販売金額1位の漁業種類別）	人					
かき類	かき類	人	538	168	241	△ 68.8	43.5
ほたてがい	ほたてがい	人	315	104	119	△ 67.0	14.4
大型定置網	大型定置網	人	46	38	39	△ 17.4	2.6
魚市場	魚市場	市場	11	10	10	△ 9.1	0.0
水産物取扱数量	水産物取扱数量	t	469,595	317,815	334,686	△ 32.3	5.3
水産物取扱金額	水産物取扱金額	万円	14,938,994	12,536,124	13,659,700	△ 16.1	9.0
冷凍・冷蔵工場	冷凍・冷蔵工場	工場	268	183	208	△ 31.7	13.7
従業者	従業者	人	10,956	5,964	7,601	△ 51.0	41.7
冷蔵能力	冷蔵能力	t	689,749	494,183	503,434	△ 28.4	1.9
水産加工場	水産加工場	工場	439	293	291	△ 33.3	△ 0.7
従業者	従業者	人	14,015	8,644	9,964	△ 38.3	15.3
生産量（生鮮冷凍水産物）	生産量（生鮮冷凍水産物）	t	255,757	113,507	162,391	△ 55.6	43.1

表 36 漁業センサスにおける主な調査結果（福島県）

区	分	単位	平成20年	25	30	対前回増減率 (25/20)	対前回増減率 (30/25)
漁業経営体	経営体	人	743	14	377	△ 98.1	2592.9
個人経営体	個人	人	716	-	354	-	nc
団体経営体	団体	人	27	14	23	△ 48.1	64.3
会社、共同経営、その他	会社、共同経営、その他	人	24	14	23	△ 41.7	64.3
漁業協同組合等	漁業協同組合等	人	3	-	-	-	nc
海上作業従事者	海上作業従事者	人	1,773	409	1,106	△ 76.9	170.4
個人経営体	個人	人	1,227	-	776	-	nc
団体経営体	団体	人	546	409	330	△ 25.1	△ 19.3
会社、共同経営、その他	会社、共同経営、その他	人	527	409	330	△ 22.4	△ 19.3
漁業協同組合等	漁業協同組合等	人	19	-	-	-	nc
漁船	漁船	隻	865	32	444	△ 96.3	1287.5
魚市場	魚市場	市場	12	1	5	△ 91.7	400.0
水産物取扱数量	水産物取扱数量	t	50,295	4,071	9,887	△ 91.9	142.9
水産物取扱金額	水産物取扱金額	万円	1,368,748	64,966	309,713	△ 95.3	376.7
冷凍・冷蔵工場	冷凍・冷蔵工場	工場	111	63	65	△ 43.2	3.2
従業者	従業者	人	2,704	1,780	1,778	△ 34.2	△ 0.1
冷蔵能力	冷蔵能力	t	109,759	80,000	78,847	△ 27.1	△ 1.4
水産加工場	水産加工場	工場	135	87	102	△ 35.6	17.2
従業者	従業者	人	2,532	1,781	2,079	△ 29.7	16.7
生産量（生鮮冷凍水産物）	生産量（生鮮冷凍水産物）	t	15,438	6,859	9,454	△ 55.6	37.8

4 福島県

福島県の漁業経営体数は、377 経営体で、5 年前に比べ363 経営体（2,592.9%）増加した。

海上作業従事者数は、1,106 人で、5 年前に比べ697 人（170.4%）増加した。

漁船隻数は、444 隻で、5 年前に比べ412 隻（1,287.5%）増加した。

魚市場の数は、5 市場で、5 年前に比べ4 市場（400.0%）増加し、水産物取扱数量は9,887 t、水産物取扱金額は30 億9,713 万円と5 年前に比べそれぞれ5,816 t（142.9%）、24 億4,747 万円（376.7%）増加した。

冷凍・冷蔵工場は65 工場で、5 年前に比べ2 工場（3.2%）増加したものの、従業者数は1,778 人で、5 年前に比べ2 人（0.1%）減少した。また、冷蔵能力は7 万8,847 t で、5 年前に比べ1,153 t （1.4%）減少した。

水産加工場は、102 工場で、5 年前に比べ15 工場（17.2%）増加し、従業者数も2,079 人で、5 年前に比べ298 人（16.7%）増加した。最も生産量の多い加工種類である生鮮冷凍水産物の生産量は、9,454 t で、5 年前に比べ2,595 t （37.8%）増加した。